～宮大生のための交換留学～

台湾・国立政治大学　交換留学報告

地域資源創成学部　地域資源創成学科・課程・専攻　4年　（関さん）

〇留学先：台湾・国立政治大学

〇留学期間：2025年2月～2026年1月(前期2月～6月、後期9月～1月)

〇渡航時の学年：　4　年次

〇留学に至った経緯について：

大学在学中に留学してみたいという思いがあり，交換留学に至りました。渡航先については，中国語圏への留学に興味があったため，宮崎大学との協定校が多い台湾の大学を選びました。

〇大学での手続について：

宮崎大学での手続き

渡航届や留学・研修届，保険の申し込みなど手続きは多いですが，国際連携センターの方が教えて下さる通りにすれば問題ないと思います。

留学先の大学での手続き

国立政治大学への交換留学には，学修計画書や志望理由書の提出が必要でした。私の場合は2月からの留学だったため，前年の10月ごろから書類の提出が始まりました。これらの書類は英語，もしくは中国語での提出が必要であったため，夏休みの間から早めに準備しておくことをお勧めします。

・査証取得：

私は一年間の交換留学だったため居留ビザの申請が必要でした。福岡県にある「台北駐大阪経済文化弁事処福岡分処」で手続きを行い，郵送してもらいました。申請は出発の1ヶ月ほど前に行いました。ビザにも期限があったのであまり早すぎると良くないと思います。申請にはパスポートや申請書，証明写真などが必要です。提出書類の1つである健康診断書については，検査項目を満たす病院がなかなか見つからず，最終的に宮崎大学の安全衛生保険センターに相談し病院を紹介してもらいました。

台湾到着後，居留ビザから居留証（ARC カード）への切り替えが必要です。留学先の大学からも案内されると思います。

〇留学体験記：

宮崎から台湾へは直行便があるので，時期によっては2～3万円で渡航できます。生活費は月4～5万円でした。国立政治大学には2種類の寮があります。1つ目は留学生専用の1，2人部屋の国際寮，2つ目は現地学生も住む4人部屋の寮です。私は後者の寮で生活し，寮費は一学期6万円ほどでした。部屋は留学生で固められますが，様々な国の学生と交流することが出来ます。

寮の付近にはコンビニやレストランなどがあり，特に不自由と思う点はありませんでした。大学内の設備についても，充実した学習環境が整っており，とても良い生活を送ることが出来たと思います。台湾では外食文化が根強いのですが，大学付近にも様々な種類の店が揃っており，友人と一緒に

食事を楽しむことが出来ます。留学生向けのバディ制度（宮崎大学のチューターのようなもの）があり，現地の学生と交流することもできます。

　授業では主に交換留学生向けの中国語の授業を履修していました。世界各地からの留学生と交流することができ，非常に充実していました。

〇帰国後について

・派遣先で単位を取得しましたか？（　した　）

・派遣先で取得した単位は宮崎大学で認定されましたか？（　されなかった　）

〇今後、留学を希望する宮大生のみなさんへ

　留学を希望するなら準備は早めに始めた方がいいと思います。宮崎大学での手続きだけでなく，渡航先の大学やビザの手続きなど必要な手順は多く，複雑です。余裕をもって始めた方が，ミスも少なくスムーズに留学へ出発できると思います。

　留学へ行くかどうか迷っているならぜひ行くことをお勧めします。やはり現地でしか経験できないことが多く，少しでも興味があるのなら行った方がいいです。







